

コミセンレポ — コミセン、和白5校区などの注目情報です —

指定管理者企画事業 今年の夏のコミセンわじろはこんなイベントを予定しています！

コロナ禍でイベントが次々に中止になっちゃいます。でもコミセンわじろは、さまざまなカタチで、今後も地域のみなさまの交流にトライします！

※以下の情報は、今後の社会状況によって延期や中止もございます。その際は大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご了承ください。

7月予定 NEWピラティスダイエット！ (有料、毎週水曜全4回)

今年冬に行って好評だったピラティスダイエット。今回はコミセンわじろスポーツ指導員主任の西山が講師です。西山は3Fのさまざまな教室の実施、公民館のスポーツ事業への参加など多彩な経験を活かしたピラティスを行う予定です。

募集は6月からを予定しています。是非チェックしてください。

8月予定 GO!GO!えんにち！ (無料、3F体育館で開催)

子どもの日から延期されたファミリーで楽しめるイベント、開催を予定しています。水ヨーヨーつり、ダーツボールなど10のいろんなコーナーを遊んで巡って、スタンプ集めたら最後にちょっとした景品ももらえる！夏休みの最後にでかけてみてはどうか？来場お待ちしております。

【その他いろんなイベント企画中！】

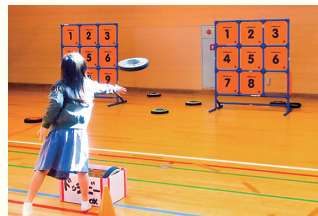
- わじろ地域大学 好評親子参加イベント全4回(夏～冬)
- わじろ映画館 毎年開催のクリスマス上映も！(秋～春)

コロナ禍はまだしばらく続きそうですが、これからもコミセンわじろは地域の皆さんが「安心・安全」を大前提にして、楽しく交流できるイベントや機会を用意していきます。上に書いている「わじろ地域大学」や「わじろ映画館」も、検温やマスク着用、人数の制限やパネル設置など安全対策を行いながら、楽しい実施開催を模索していきます。

日々の情報はコミセンわじろの公式ホームページや、公式Facebookに「いいね！」を押してチェックしてみてくださいね！



▲昨年度のピラティスダイエット教室の様子。初心者でも安心して参加。



▲GO!GO!えんにち!実施を予定している競技。持って帰れるものもたくさん！



▲わじろ地域大学は地域の知恵を体験。



▲わじろ映画館は映画以外のお楽しみも。



〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27

☎092-608-8480 FAX:092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで(多目的ホールは午後10時まで)

【休館日】毎月最終月曜日(祝日のときは翌日)、及び年末年始(12/28～1/3)

より詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <https://wajiro.info>

facebookでも、コミセンわじろの日常を発信中！

facebook www.facebook.com/komisenwajiro



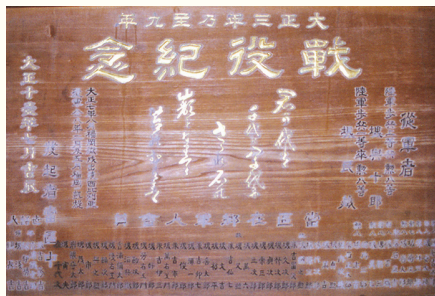
「敬老会図(部分)」志式神社

地域  文化

わじろじまん — 地域にある、次に伝えたい「誇り」をご紹介 —

わじろの記録 神社の「大絵馬」 残されてきた当時の感謝の気持ち

【取材協力】志式神社、綿津見神社、四社神社、大神神社、福岡市博物館学芸課 【写真協力】福岡市



▲ (左上)「豊漁図」志式神社、(右上)「石橋山の戦い図」大神神社、(左下)「祝宴図」四社神社、(右下)「シベリア出兵記念額」綿津見神社

わたしたちのわじろ地域には、塩浜の四社神社、高美台の大神神社、奈多の志式神社、三苫の綿津見神社など、たくさんの神社があります。神社に祀られた氏神を護る絵代さんなど氏子(うじこ)のみなさんを中心に信奉されている神社には、その地域の文化や歴史を遺す「大絵馬」があります。今回は地域の貴重な存在である神社の「絵馬」についてご紹介します。

感謝のために「奉納」された大絵馬

神社の境内や、建物の中や外に飾られている大きな絵。この絵を「大絵馬」と呼びます。現在では一般に私たちが願い事を書いて神社に納めるものを絵馬と呼ぶことが多いですが、そちらは「小絵馬」と



▲ 奈多・志式神社の境内にある「絵馬殿」。

呼んで分けることもあります。

今回の主役は大絵馬です。特徴として絵の枠にあたる部分に「奉納(ほうのう)」という文字や、年号日時などいつのものの表記、そして絵のお題などが書かれています。裏面には絵馬師と呼ばれる作者の名が書かれていることもあります。大きさも時代も内容も、そして保存状態もさまざまですが、細かく見るとその土地ならではの情報が載っている貴重な存在であることに気づきます。

地域の出来事が遺る、記録として

今回の記事のきっかけは、奈多公民館の木村館長が教えてくれた1998年発行の3冊組の図録『福岡市の絵馬』の存在で



▲ 絵馬殿内観。大絵馬が飾ってある。

した。前出の4つの神社に加え、市内の神社に残された大絵馬が並んでいます。「地域のことを知りたいときは、そこにある神社さんを訪ねたり調べたりすることが多いんですよ」と、福岡市博物館学芸課民俗学のみなさんも教えてくれました。確におめでたい出来事として、遷宮の様子や氏子の四国、伊勢、高野山参拝、戦争時の出征のものなどさまざまな地域で起こった出来事の様子が、当時存在した「絵馬師」たちによって描かれています。写真が貴重な時期のものは大判のものも遺されています。

まちに生きた人々の気持ち

大絵馬の現在を知るために、奈多の志式神社にて、宮司の稲光さんにお話を聞きました。志式神社はわじろ地域でも残っている大絵馬が多く、境内に「絵馬殿」があつて絵馬が大切に保管されています。「例えばある戦争出征の際に、全員が無事に戻って来たそうで、そのご加護、感謝を神様に奉納したものもあると聞いています。」大絵馬の中には“敬老会”と題された、たくさんの氏子が描かれたものもありました。「この絵の中にはご先祖様が描かれているかも知れません。地域の貴重な宝として、これからもみんなで保管し、次の世代に遺せれば嬉しいですね。」



この方に聞きました！

稲光 賢治さん
宮司



▲ 4つの神社のMAP

地域  団体

わじろ元気印 — この地域で「力いっぱい」活動する団体の情報 —

pono hula 生命を感じるフラダンスサークル

美和台公民館のフラダンスサークルとして誕生した pono hula さんは、通常時は地域でのイベント、先日動画撮影で行われた「こみせんまつり」などでも華やかな踊りを披露するなど、地域で積極的に活動しています。最近はシニアの方々に向けた活動も開始するなど話題に尽きません。代表の桐島さんに、団体の活動について話をうかがいました。

チームについて教えてください

2015年12月に美和台公民館で「フラダンス同好会」という名前で始めました。その2ヶ月後には pono hula 名義でコミセ

ンまつりに出たんです。実はそれがデビューですね。現在は公民館で主に金曜日、月2回練習など活動しています。最初は5人で始めて。今は16名とシニア枠を加えて20名ちょっとで活動しています。

現在の活動について教えてください

私たちは濱田ゆかり先生に指導を受けています。先生は助産師さんなんですが、『いのちのフラ』という心で自然に踊るフラの活動を優先し大切にされています。教わるというよりは先生のフラに魅了される、癒される感じで生徒が増えていっている感じですね。先生の人気が高いので最近

シニアのクラスができたんですよ。興味のある方は是非見学やお問い合わせくださいね。

地域のみなさんとのつながりを教えてください

例年は美和台のまつりをはじめ、宗像、福津、直方など、週末ごとに活動発表の場がありましたが、昨年からコロナで活動も少なくなりました。小さい子どもがいるママメンバーは、成長に応じて参加が難しくなったりもするので、活動を続けるのも一苦労あります。でもフラは基本声を発さないの、コロナ禍でもやりやすいダンスなんです。今は仲間たちと一緒に表情やダンスを極めて、またみなさんに自然なフラを披露したいですね。



この方に聞きました！

桐島 美香さん
フラダンスサークル

▲ 活動風景。ダンスから踊り手の気持ちが伝わる。その自然な空気感が魅力。



応援課だより — 地域がつながる、盛り上がる活動を応援 —

ユニフォーム刷新 新たな「青いジャンパー」に身を包み心機一転

地域に出ると「コミセンさんお疲れ様です！」とよく声をかけていただいています。「青いジャンパーみかけたよ！」と言っていただくと、自転車や徒歩の移動も張り切って行けますね。応援課としても大変嬉しいです。そんな応援課職員ウォッチャーの皆様にお知らせが。この春からコミセンの制服がリニューアルし

ました。鮮やかな青のスポーティなタイプになりましたので、お見かけしたら今まで通り、コミセンさんとお声をおかけください。コロナ禍で外出や訪問さえも厳しい時期もありますが、装いも新たな応援課を引き続きよろしく願いいたします。

ご相談やお問合せはコチラまで

☎ 092-608-8480
✉ support@wajiro.info



▲ 新しいユニフォームでの集合写真。